



TURBOSYSTEMS

# 8K SHV SJive Player 操作説明書

(OTH084)

ターボシステムズ株式会社



## 目次

1. はじめに.....	3
1.1. 付属品.....	3
2. 本装置仕様.....	4
2.1. 装置概要.....	4
2.2. 装置前面.....	5
2.3. 装置背面.....	5
3. 8K SHV SJive Player の操作.....	7
3.1. ご用意いただくもの.....	7
3.2. 装置設置.....	8
3.3. 実行ファイルの用意.....	10
3.4. ファイルのコピーと削除.....	11
3.5. ファイル削除.....	14
3.6. ファイル再生.....	15
3.7. プレイリスト再生.....	17
3.8. プレイリストの削除.....	18
3.9. リモートコントロール機能.....	19
4. 「Network Settings」の設定.....	21
4.1. IP アドレスの設定.....	22
4.2. Windows ネットワークの設定.....	23
5. 「Network Disk」の設定.....	24
6. HDR 設定.....	26
6.1. HDR 設定概要.....	26
6.2. HDR 設定画面.....	27

## 変更履歴

日付	内容
2021/06/14	初版

# 1. はじめに

本書は、「8K SHV SJive Player 」の操作方法について説明しています。

最新情報は製品のウェブページをご覧ください。

## 8K SHV SJive Player

<http://www.turbosystems.co.jp/sjive8k.html>

### 1.1. 付属品

次の付属品がそろっている事を確認してください。

- プレーヤ本体
- 電源コード（1本）
- テンキー（1個）
- 操作説明書（本書）
- 保証書



HDMI2.1 ケーブル、ネットワークケーブル、USB メモリは製品に付属していません。

## 2. 本装置仕様

### 2.1. 装置概要

本製品の仕様は以下の通りです。

製品名	8K SHV SJive Player
型番	OTH084
映像コーデック	H.265/HEVC Main 10 (最大 200Mbps まで *1) 8K (7680 x 4320) : 60/59.94/30/29.97fps 4K (3840 x 2160) : 60/59.94/30/29.97ps
音声コーデック	2ch / 5.1ch / 7.1ch / 22.2ch AAC-LC 16bit 48kHz
コンテナ	MP4 / MPEG2-TS / MMT
IP 入力信号	高度 BS 相当の TLV/MMT 信号 (MMTP, 単一 TLV, 合成 TLV)
映像出力	8K コンテンツ : HDMI 4:2:0 8bit / 29.97/30fps 4K コンテンツ : HDMI 4:2:0 10bit / 59.94/60fps ※8K テレビ接続時、4K コンテンツは 8K へ拡大出力されます ※4K テレビ接続時、8K コンテンツは 4K へ縮小出力されます
音声出力	HDMI へ重畳 (8ch) *3
筐体サイズ	377mm (W) x 82mm (H) x 330mm (D)
内蔵 SSD サイズ	120GB
重量	約 5.5Kg
電源	450W 100-240V
付属品	本体、電源ケーブル、10 キー、操作説明書(本書)、保証書

\*1 全てのコンテンツの再生を保証するものではありません。対応最大ビットレート未満のコンテンツでも正常に再生できない可能性があります。

\*2 DisplayPort 出力は未対応です。

\*3 8ch 分のみ HDMI へ重畳し出力します。22.2ch 出力には対応していません。

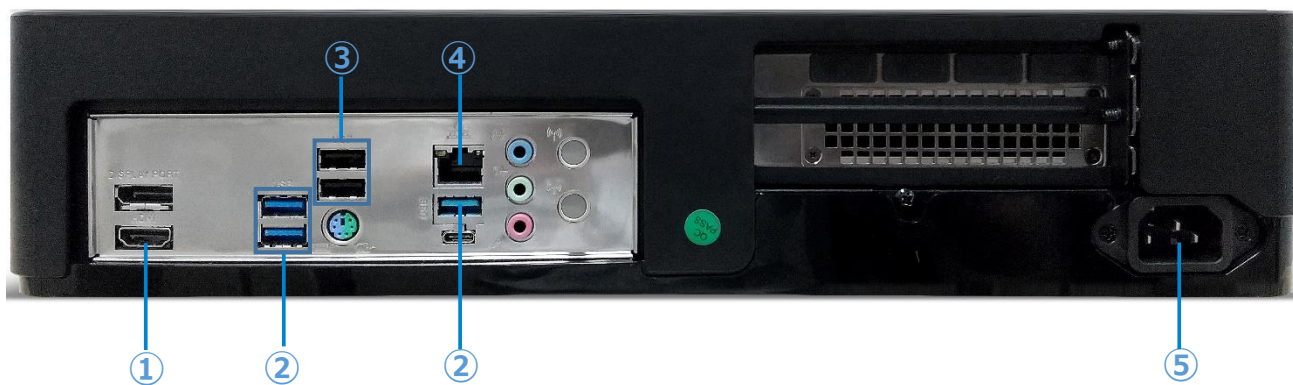
## 2.2. 装置前面

使用するスイッチやポートは以下の図のとおりです。その他の端子は利用しません。



	名称	説明
①	電源スイッチ	装置本体の電源を ON/OFF します。
②	USB2.0 ポート	製品付属のテンキーを接続します。

## 2.3. 装置背面



※ ハードウェアは異なる可能性があります。

	名称	説明
①	映像音声出力ポート	HDMI2.1 対応ケーブルを差し込み、4K/8K テレビと接続します。

②	USB3.0 ポート	USB メモリや外付け SSD を接続します。
③	USB2.0 ポート	製品付属のテンキーを接続します。
④	ギガビット LAN	イーサネットケーブルを接続します。
⑤	電源ポート	電源コードを接続します。



動画素材を保存した外付け USB メモリや SSD は、青色の USB3.0 ポートへ接続してください。また、同時に複数の USB ポートへ外付け USB メモリや SSD を接続しないでください。



### 3. 8K SHV SJive Player の操作

この章では本装置の操作方法について解説しています。

#### 3.1. ご用意いただくもの

項目	説明
4K/8K テレビ	映像を表示する 4K/8K テレビ ※シャープ製 8K テレビ AQUOS 8K <8T-C80AX1> との HDMI2.1 接続を確認しています
HDMI2.1 ケーブル	本装置と 8K テレビとの接続に必須です。 HDMI2.1 に対応した Ultra High Speed Cable を用意してください。
USB メモリ USB ストレージ (SSD)	外付けの USB メモリや SSD へ保存されたファイルを再生したい場合は、必ず USB3.0 対応の機器を使用してください。性能面から必須です。
ネットワークケーブル	本装置を LAN へ接続する場合に必要です。
Windows PC	本装置の内蔵 SSD へ Windows からネットワーク経由でコンテンツをコピーしたい場合に必要です。



外付け USB3.0 対応ストレージは、SSD を搭載した機器を使用してください。HDD を搭載したものは十分なパフォーマンスがでないため推奨しておりません。



HDMI ケーブルは、HDMI2.1 に対応した Ultra High Speed Cable を用意してください。また、USB メモリは USB3.0 対応必須です。

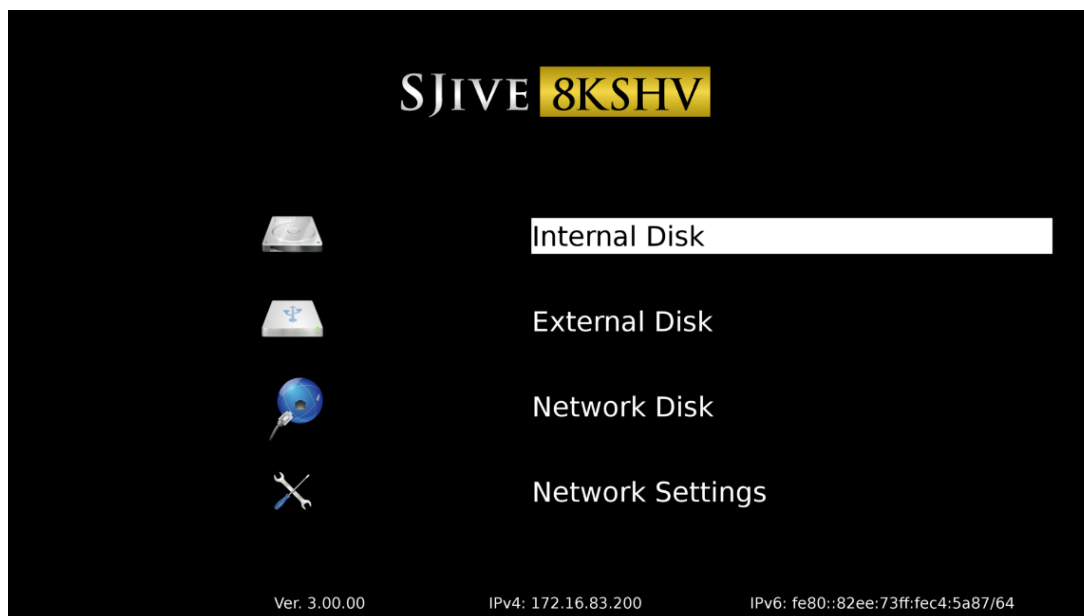
## 3.2. 装置設置

以下の手順に従い、本装置を設置します。



8K テレビと接続してから最後に本装置の電源を入れてください。

1. 電源ケーブルを接続し、コンセントへ挿入します。
2. 付属の USB テンキーを本装置の USB ポートに接続します。
3. 本装置と 4K/8K テレビを HDMI2.1 ケーブルで接続します。
4. 本装置の電源を投入します。しばらくすると、メイン画面が表示されます。



電源投入後、メイン画面が表示されるまでしばらく時間がかかります。

画面項目は以下の通りです。

項目	説明
Internal Disk	内蔵 SSD に保存されているファイルが一覧表示されます。ファイルのコピー方法は「3.4. ファイルのコピーと削除」を参照してください

	い。
External Disk	外付けの USB デバイスに保存されているファイルが一覧表示されます。
Network Disk	NFS あるいは CIFS で公開された共有フォルダのマウント設定が可能です。 「5. 「Network Disk」 の設定」を参照してください。
Network Settings	MTU 設定、IP アドレスの設定、Windows ネットワーク (Samba) の設定を行います。「4. 「Network Settings」 の設定」を参照してください。
Ver	バージョンを表示します。
IPv4	設定されている IPv4 アドレスを表示します。
IPv6	設定されている IPv6 アドレスを表示します。

### 3.3. 実行ファイルの用意

本装置は、以下の拡張子のファイルを実行可能です。

拡張子	概要
.ts	MPEG2-TS 動画ファイル
.mp4	MP4 動画ファイル
.mmt	<p>MMT ストリームの受信設定を記述します。以下の項目をスペース区切りで指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ポート番号</li><li>・マルチキャストグループアドレス</li><li>・ソースアドレス</li></ul> <p>設定例) IPv6 マルチキャスト受信</p> <pre>51216 ff12::1 2001::1:1:0:1</pre> <p>設定例) IPv4 ユニキャスト受信</p> <pre>51216</pre> <p>ユニキャスト受信はポート番号だけを指定します。</p>



拡張子はコンテナに合わせて必ず上記の通りとしてください。



弊社製品「ZJive for MMT」で録画したファイルの拡張子も.mmt です。本装置は、「ZJive for MMT」で録画した.mmt ファイルも再生可能です。

## 3.4. ファイルのコピーと削除

本装置の内蔵 SSD 「Internal Disk」 へファイルをコピーするには 2 つの方法があります。

1 つは、外付けの USB メモリや SSD から 「Internal Disk」 へコピーする方法です。もう 1 つは、Windows からネットワーク経由で 「Internal Disk」 へアクセスし、コピーする方法です。

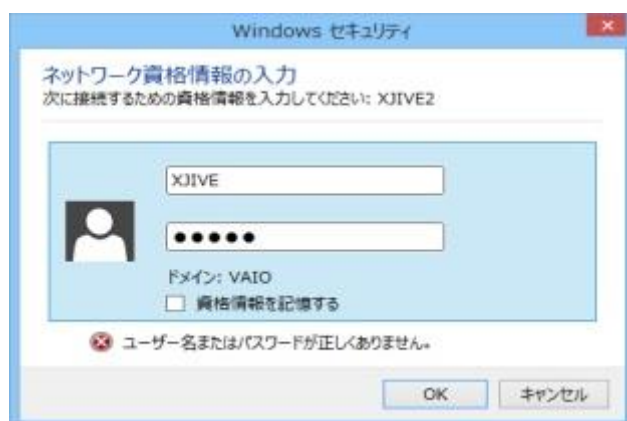
### 3.4.1. Windows からコピーする

「4. 「Network Settings」 の設定」 を参照し、「ネットワーク」と「Windows 共有」 の設定を完了してください。Windows 共有を有効にすると、同じ LAN の Windows PC から本装置の「Internal Disk」 へアクセスできるようになります。

Windows エクスプローラを起動し、エクスプローラの場所ツールバーへ本装置の IP アドレスと共有フォルダ名（初期値: xjive）を指定します。以下は IP アドレスが 192.168.0.10 の例です。

¥¥192.168.0.10¥xjive

アイコンをダブルクリックして共有フォルダへアクセスします。



ユーザ名とパスワードを要求されますので、「USER NAME」（初期値: **XJIVE**）と「PASSWORD」（初期値:**XJIVE**）を入力し、「OK」を押します。

認証に成功すると 「Internal Disk」 へアクセスできるようになります。

Windows PC 上に保存されているファイルをコピーしてください。

### 3.4.2. 外付け USB メモリ/SSD からコピーする

以下の条件を満たす外付け USB メモリやストレージ (SSD) を用意してください。

- USB3.0 対応 (動画素材.mp4、.ts を外部 USB から直接再生する場合は性能面から必須)
- 単一パーティションテーブルのもの (通常は購入時にはこの状態です)
- ファイルシステム : exFAT もしくは Ext4 でフォーマットしたもの



その他のファイルシステムでも認識は可能ですが性能検証は上記のみです。

USB メモリは通常、単一パーティションテーブル構成になっています。そのままの状態

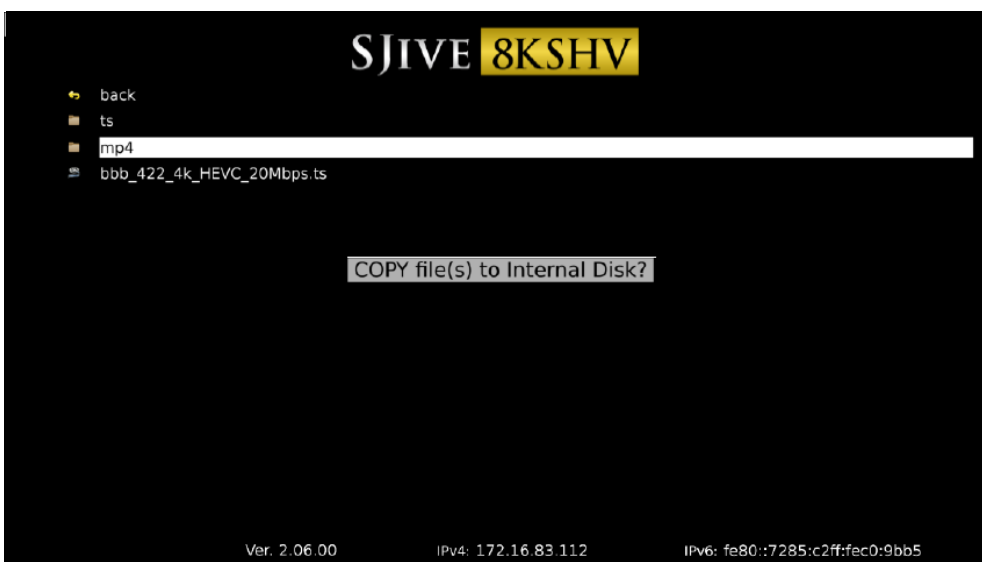


でフォーマットを実行してください。フォーマット手順は、ご利用の OS のヘルプ等を参照してください。また、希に単一パーティションではない USB メモリが存在します。そのような USB メモリは正常に認識できない場合があります。

「External Disk」にあるフォルダやファイルを「Internal Disk」へコピーするには以下のように操作します。

「External Disk」の一覧からコピーしたいフォルダまたはファイルを選択し、テンキーの「+」を押します。

確認メッセージが表示されます。キャンセルするには「BackSpace」キーを押します。



「Enter」キーを押すとコピーが始まります。

# SJIVE 8KSHV

- ➔ back
- ts
- mp4
- ≡ bbb\_422\_4k\_HEVC\_20Mbps.ts

split-hevc-8bit-25M-4.m...( 2/ 6)  
26.99%

Ver. 2.06.00

IPv4: 172.16.83.112

IPv6: fe80::7285:c2ff:fec0:9bb5

### 3.5. ファイル削除

Windows から「Internal Disk」へアクセスし、ファイルを削除、あるいは操作画面からファイルを削除することができます。

操作画面から「Internal Disk」へ保存されているファイルやディレクトリを削除するには、一覧から削除したいフォルダまたはファイルを選択し、「-」キーを押します。

確認メッセージが表示されます。キャンセルするには「Backspace」キーを押します。



「Enter」キーを押すと削除されます。



「External Disk」にあるフォルダやファイルを削除することはできません。



### 3.6. ファイル再生

本装置の電源を投入します。メイン画面が表示されます。



操作は付属のテンキーを使用します。



キー	説明
[↑] [↓]	移動
[Enter]	選択

「↑」「↓」キーで「Internal Disk」または「External Disk」を選択し、「Enter」キーを押します。ファイルの一覧が表示されます。



「↑」「↓」キーで再生したいファイルへカーソルを合わせ、「Enter」キーを押します。再生が始まります。「Backspace」キーを押すと一覧画面へ戻ります。

再生中はテンキーで以下の操作が可能です。

キー	説明
「Enter」	再生 / 一時停止
「+」	前のファイルを再生（プレイリスト再生時）
「-」	次のファイルを再生（プレイリスト再生時）
「Backspace」	一覧画面へ戻ります。



一覧画面で「7」キーを押すと現在のフォルダにある全てのコンテンツを順番に再生します。

### 3.7. プレイリスト再生

プレイリストを設定すると、選択した順番で .mp4/.ts ファイルをループ再生させることができます。

設定したプレイリストは「Internal Disk」の「PLAYLIST.lst」ファイルへ保存されます。



コンテンツをプレイリストへ追加/削除するには以下のキーで操作します。

キー	説明
「*」	プレイリストへ追加します。コンテンツの先頭に再生順の番号が表示されます。
「/」	プレイリストから削除します。
「.」	コンテンツの先頭に表示されている番号をすべてクリアします。 「PLAYLIST.lst」へ保存されているプレイリストはクリアされません。
「0」	プレイリスト再生を開始します。「PLAYLIST.lst」へカーソルを合わせて「Enter」キーを押した場合と同じです。

**プレイリストへ追加したコンテンツへカーソルを合わせてもう一度「\*」キーを押すと、プレイリストが保存されます。**

プレイリスト再生を開始するには、「PLAYLIST.lst」へカーソルを合わせて「Enter」キーを押すか

「0」キーを押します。「Backspace」キーを押すとコンテンツ一覧画面へ戻ります。



プレイリストへ追加可能なコンテンツの数は99番までの制限があります。



プレイリストが保存されている場合、XJive 起動後、自動的にプレイリスト再生がはじまります。

### 3.8. プレイリストの削除

プレイリストをクリアするには「Internal Disk」の「PLAYLIST.lst」へカーソルを合わせて「/」キーを押します。

PLAYLIST.lst ファイルの内容がクリアされます。

### 3.9. リモートコントロール機能

本装置を起動すると以下のメインメニューが表示されます。



リモートコントロール機能を有効に設定すると、メニュー画面が非表示になり、タブレットやパソコン等のウェブブラウザから XJive の画面を操作できるようになります。

リモートコントロール機能の ON/OFF は以下のファンクションキーで切り替えます。

キー	説明
[F3] キー	メニュー画面を表示し、リモートコントロール機能を無効にします。
[F4] キー	メニュー画面を非表示にし、リモートコントロール機能を有効にします。



リモートコントロール機能の設定は XJive 再起動後も保持されます。

[F4] キーを押して、リモートコントロール機能を有効後、ウェブブラウザで XJive の IP アドレスへアクセスします。XJive の IP アドレスはメイン画面下に表示されています。

**<http://XJiveのIPアドレス/>**

以下の認証画面が表示されます。



ユーザー名とパスワードを入力します。

<b>ユーザー名</b>	<b>xjive</b> ※ユーザー名は xjive 固定です。
<b>パスワード</b>	XJive の「Settings」画面へ移動するときと同じパスワードです。 初期状態では、 <b>1234</b> に設定されています。

入力後、[ログイン] ボタンを押します。以下のリモートコントロール画面が表示されます。



左部に XJive のメイン画面、右部に仮想テンキーが表示されます。

## 4. 「Network Settings」の設定

メイン画面の「Network Settings」では、ネットワークインターフェイスの設定と Windows ネットワーク (SMB) の設定が可能です。「Network Settings」画面へ移動するにはパスワードの入力が必要です。

初期設定のパスワードは「**1234**」に設定されています。パスワードを入力し「Enter」キーを押してください。



初期パスワードを変更するには、「Network Settings」画面にログインした状態で「\*\*\*」を入力します。パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力し「Enter」キーを押します。確認のため再入力画面が表示されますので、もう一度、パスワードを入力し「Enter」キーを押します。

パスワードの認証に成功すると以下の「Network Settings」画面が表示されます。

MTU	1500	<b>6000</b>	<input checked="" type="radio"/> SMB Enable	<input type="radio"/> SMB Disable
V4 address	<input type="text"/>		WORKGROUP	<input type="text" value="WORKGROUP"/>
V6 address	<input type="text"/>		HOST NAME	<input type="text" value="XJIVE"/>
V4 gateway	<input type="text"/>		USER NAME	<input type="text" value="XJIVE"/>
DNS	<input type="text"/>		PASSWORD	<input type="text" value="XJIVE"/>

V4 address: 172.16.83.112/22      Disk: 428392/460960MByte (3%use)  
V6 address: fe80::7285:c2ff:fec0:9bb5/64      System Ver. 2.06.00

## 4.1. IP アドレスの設定

設定項目は以下の通りです。初期状態では DHCP サーバから IP アドレスを取得します。

設定項目	説明
MTU	ネットワークインターフェースの MTU 値を選択します。 合成 TLV/MMT ストリームを受信するには "6000" を選択する必要があります。
V4 address	IPv4 アドレスを手動で設定する場合に入力します。空白の場合は自動取得です。IPv4 アドレスとサブネットネットマスクを / で区切って入力してください。 例) 192.168.0.1/24 サブネットネットマスクはビット指定です。省略した場合は、自動的に <b>24</b> が指定されます。
V6 address	IPv6 アドレスを手動で設定する場合に入力します。空白の場合は自動取得です。IPv6 アドレスとサブネットネットマスクを / で区切って入力してください。サブネットネットマスクはビット指定です。省略した場合は、自動的に <b>64</b> が指定されます。
V4 gateway	IPv4 ゲートウェイの IP アドレスを指定します。
DNS	DNS サーバの IP アドレスを指定します。

設定画面のテンキー操作は次の通りです

	説明
NumLock 無効時	<ul style="list-style-type: none"><li>・「↓」「←」「→」キーで項目選択および項目移動</li><li>・「1500」「6000」「SMB Enable」「SMB Disable」にカーソルをあわせた状態で「BackSpace」キーを押すとメイン画面へ戻ります。</li></ul> 設定が変更されている場合、変更を保存します。
NumLock 有効時	<ul style="list-style-type: none"><li>・数字キー、「.」キー、「/」キーで IPv4 アドレスを入力します</li><li>・「BackSpace」キーで入力を削除します</li></ul>



	※IPv6 アドレスを入力する場合は、USB キーボードを接続する必要があります。
--	---

## 4.2. Windows ネットワークの設定

設定項目は以下の通りです。

設定項目	説明	初期値
WORKGROUP	Windows ネットワークのワークグループ名を指定します。	WORKGROUP
HOST NAME	NetBIOS 名を指定します。Windows ネットワークにはここで指定した名前が表示されます。	XJIVE
USER NAME	共有フォルダへアクセスするユーザ名を指定します。	XJIVE
PASSWORD	共有フォルダへアクセスするユーザのパスワードを指定します。	XJIVE



**入力するには USB キーボードを接続する必要があります。**

## 5. 「Network Disk」の設定

メイン画面の「Network Disk」では、NFSあるいはCIFSで公開された共有フォルダのマウント設定が可能です。「Network Disk」を選択すると以下の画面が表示されます。

SJIVE 8KSHV

NetDisk Access

Settings

protocol	nfs	smb
iocharset	utf8	cp932
Network Path		
User Name		
Password		

設定を行うには、「Settings」を選択し、「Enter」キーを押します。パスワードの入力を要求されますので、「Network Settings」で設定したパスワードを入力します。

初期パスワードは「1234」に設定されています。パスワードを入力し「Enter」キーを押すと設定が可能になります。

SJIVE 8KSHV

NetDisk Access

Settings

protocol	nfs	smb
iocharset	utf8	cp932
Network Path	192.168.0.1:/nfsdir	
User Name		
Password		

「Settings」の項目は以下の通りです。

設定項目	初期値
protocol	共有フォルダをマウントする際に使用するプロトコルを選択します。
iocharset	文字コードを選択します。
Network Path	共有フォルダのネットワークパスを指定します。以下は設定例です。nfs の場合は以下の書式で指定します。 192.168.0.1:/nfsdir smb の場合は以下の書式で指定します。 192.168.0.1/smbdir  192.168.0.1 はサーバの IP アドレス、nfsdir/smbdir は共有フォルダのパスです。
User Name	マウントするのにユーザ名が必要な場合に指定します。 smb の場合は、ユーザ名/パスワードなしでマウント可能な共有フォルダでもユーザ名の指定は必要な場合があります。
Password	共有フォルダをマウントするユーザのパスワードが必要な場合に指定します。

設定完了後に「NetDisk Access」を選択すると、共有フォルダをマウントし、共有フォルダに保存されているファイルの一覧が表示されます。

## 6. HDR 設定

### 6.1. HDR 設定概要

8K SHV SJive Player (OTH083) モデルは HEVC Main 10 で符号化された HDR コンテンツの HDMI 4:2:0 10bit 出力に対応したモデルです。HDR 伝送方式は、ARIB STD-B67 (HLG: Hybrid Log Gamma 方式) 及び SMPTE ST 2084 (PQ: Perceptual Quantizer 方式) の HDR10 に対応します。

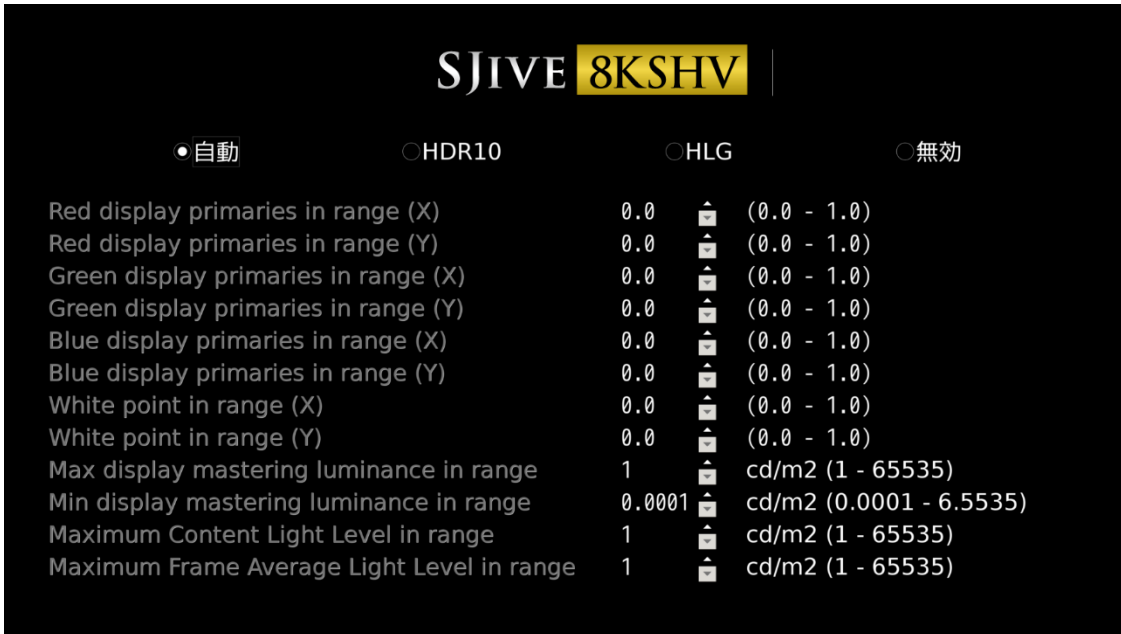
本装置は、HEVC コンテンツのカラートランスファ情報を参照することで、ARIB67 のときは HLG、ST2084 のときは HDR10 と判別し、HDR インフォフレーム情報を HDMI 伝送しますので、XJive をシャープ製 8K 映像モニター<LV-70002> 等の HDR 対応テレビへ接続すれば自動的にコンテンツの HDR モードで再生が可能です。また、HDMI 出力は YUV 4:2:0 8bit から YUV 4:2:0 10bit に拡張されました。ビット深度が 10bit になったことで、より滑らかな階調による映像表現が可能になっています。



ARIB STD-B67 (HLG: Hybrid Log Gamma 方式) は、イギリス国営放送 BBC と NHK が中心になって開発した HDR 伝送方式です。SMPTE ST 2084 (PQ: Perceptual Quantizer 方式) は次世代 BD「Ultra HD Blu-ray」に採用されている方式で収録方式の違いにより「HDR10」「Dolby Vision」「Philips」方式が存在します。

## 6.2. HDR 設定画面

標準では HEVC コンテンツのカラートランスファ情報を参照し、自動的に HDR 情報を伝送しますが、手動で設定を変更することも可能です。設定を行うには XJive のメイン画面でテンキーの「-」キーを押下します。以下の設定画面が表示されます。



初期状態では「自動」が選択されています。テンキーの「Num」を解除し、左右矢印キー「←」/「→」で項目を移動できます。

自動	コンテンツの HDR 情報および接続された 4KTV の HDR 対応情報を取得し、自動的に HDR インフォフレーム情報を送じます。
HDR10	強制的に HDR10 のインフォフレーム情報を送じます。
HLG	強制的に HLG のインフォフレーム情報を送じます。
無効	HDR インフォフレーム情報を送じません。

変更した設定を保存するには「自動」「HDR10」「HLG」「無効」が選択された状態で「BS」キーを押します。変更が保存され、メイン画面へ戻ります。

「HDR10」を選択した場合は、HDR インフォフレームメタデータの設定が可能です。値を設定するには「Tab」キーで設定項目を移動し、上下矢印キー「↑」「↓」で変更します。

Red display primaries in range (X)	マスターディスプレイの色度点 (赤)
Red display primaries in range (Y)	設定範囲: 0.0 - 1.0

Green display primaries in range (X)	マスターディスプレイの色度点 (緑)
Green display primaries in range (Y)	設定範囲: 0.0 - 1.0
Blue display primaries in range (X)	マスターディスプレイの色度点 (青)
Blue display primaries in range (Y)	設定範囲: 0.0 - 1.0
White display primaries in range (X)	マスターディスプレイの色度点 (白)
White display primaries in range (Y)	設定範囲: 0.0 - 1.0
Max display mastering luminance in range	マスターディスプレイの最大輝度 設定範囲: 1 - 65535 cd/m <sup>2</sup>
Min display mastering luminance in range	マスターディスプレイの最小輝度 設定範囲: 0.0001 - 6.5535 cd/m <sup>2</sup>
Maximum Content Light Level in range	コンテンツの輝度レベル最大値 設定範囲: 1 - 65535 cd/m <sup>2</sup>
Maximum Frame Average Light Level in range	コンテンツのフレーム内平均輝度最大値 設定範囲: 1 - 65535 cd/m <sup>2</sup>



ターボシステムズ株式会社